

ようろう 議会だより



「手をつないで仲良く入場」(養北小学校入学式)



2019.5.1
(令和元年)
No.144

144号
2019.5.1

発行/2019年5月1日 養老町議会 〒503-1392 岐阜県養老郡養老町高田798 TEL0584-325084(直通) 編集/議会だより編集特別委員会 印刷/盛福印刷機

議会ニュース

ようこそ議場へ

2月12日に広幡小学校6年生の皆さんが、社会科学学習の一環として議場を訪れ、議会の仕組みなどを勉強しました。

おめでとうございます

町議会議員として15年以上在職し、功労のあった田中敏弘議員と野村永一議員が全国町村議会議長会自治功労者表彰を受賞されました。

第1回臨時会が開催されました

3月28日に、第1回臨時会が開催されました。児童らの学習環境の衛生基準を確保するための整備を実施するため、次の2議案を賛成全員で原案の通り可決しました。

- 養老小学校空調設備改修工事請負契約の締結
(契約方法) 指名競争入札 (契約金額) 76,680,000円(税込)
(契約の相手方) 株式会社ホクエー電気養老営業所 (工期) 本契約締結日から2019年9月10日
(工事概要) 空調機器設置及び改修工事 普通教室18室 特別教室5室 管理室3室
- 日吉小学校空調設備改修工事請負契約の締結
(契約方法) 指名競争入札 (契約金額) 65,880,000円(税込)
(契約の相手方) 株式会社ホクエー電気養老営業所 (工期) 本契約締結日から2019年9月10日
(工事概要) 空調機器設置及び改修工事 普通教室9室 特別教室5室 管理室4室

元嘱託職員による公金着服事件 報告

平成30年7月18日に元嘱託職員による公金着服事件民事訴訟の判決が確定したことにより、元嘱託職員に対して、損害賠償金1,050万600円と遅延損害金を請求いたしました。その後、平成25年2月に元嘱託職員より清華苑使用料の一部として預かっていた1,000万円と、現金として保管していた20万1,000円をあわせて損害賠償金と相殺いたしました。

現在、相殺後の残額29万9,600円と確定遅延損害金135万6,447円に加え、相殺後の残額に対する遅延損害金をあわせて請求しておりますが、今のところ納入はありませんので、今後は、督促や法的措置など顧問弁護士の助言を得ながら進めてまいります。

委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会だより編集 特別委員会
北倉	長澤	早崎	吉田	松永	
義博	龍夫	百合子	太郎	民夫	

5月15日に臨時会及び6月に定例会を開会予定です。ぜひ傍聴にお越しください。
(詳しい日程については、「広報ようろう」と町ホームページでお知らせします。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。)

ページ

- 新年度予算 注目は? 2
- 3月定例議会での質問 2
- 予算特別委員会報告 4
- 常任委員会報告 6
- こんなことが決まりました 7
- 町の考えを問う(4議員が一般質問) 8
- 「議員と話そう」アンケート結果 12
- あれから「高度処理型合併浄化槽の補助金」
はどうなったんやあ〜 13
- 議会に対しての意見(住民の声) 13
- 議会ニュース 14

3月
定例議会

ホームページ
<http://www.town.yoro.gifu.jp/>



議会QRコード

「わたしの声」を待っています。役場ロビーに意見箱を設置してあります
「わたしの声」の宛先は
〒503-1392 養老町高田798番地 養老町議会事務局内
TEL (0584) 32-5084 (直通) FAX (0584) 32-1812
メールアドレス: 14gikai@town.yoro.gifu.jp

令和元年度 予算

209億4,740万円

令和元年度 注目事業はこれ

一般会計 **129億 800万円 (23.2%増)**
 特別会計 **72億 4,620万円 (0.3%減)**
 企業会計 **7億 9,320万円 (13.8%増)**

※ 増減は平成30年度当初比

産地パワーアップ事業

20億907万円

産地競争力の強化に必要な産地基幹施設の整備とし、(株)サラダコスモ養老工場建設に伴う補助金交付を行います。

国の補助金 上限 20億円
 町の補助金 上限 250万円

他にキャベツ生産農家の機械リースへの補助金があります。

プレミアム付商品券事業

1億3,625万円

消費税10%に伴い、子育て世帯と低所得者を救済するための国の政策です。

対象者・0～3歳半の子どもがいる世帯
 ・住民税非課税世帯

25,000円分の商品券を20,000円で販売しますので、5,000円(25%)お得になります。

高度処理型合併浄化槽設置

9,651万6千円

高度処理型合併浄化槽の促進を図るため、住宅に設置する場合の補助金を上乗せするものです。
 ※詳細についてはP13の「あれからどうなったんやぁ〜」に掲載しています。

防災行政無線デジタル化整備

9,256万7千円

防災行政無線をアナログ方式からデジタル方式に移行する必要があるため、改修工事を実施します。役場の操作卓、各屋外スピーカー等をデジタル化、増設、調整をする事により、音声が届きやすくなります。2021年からデジタル化運用を開始します。

ネクスト100プロジェクト

1,414万円

今年10月に、「養老フェスタ2019(仮称)」を開催します。また、来年度開催予定の「まるごと肉まつり養老2020(仮称)」に向けた検討、及び関係機関との連絡調整を行います。

移住定住促進事業補助金

858万円

子育て世帯への補助だけでなく、U・I・Jターンや三世帯同居・近居にも着目し、経済的に支援していきます。

東京圏からの移住支援事業補助金 100万円
 若者定住マイホーム取得支援事業補助金 165万円
 三世帯ハッピーマイル事業補助金
 三世帯同居近居住宅取得支援補助金 575万円
 孫育てサポート補助金 18万円

小学校情報化推進事業

545万9千円

ICT教育を推進するため、未整備であった小学校5校にタブレット端末とプログラミング学習用キットを整備します。

・タブレット端末(リース) 105台
 ・プログラミング学習用キット 20セット

賦課徴収事業

クレジット収納事業 **15万2千円**

平成31年度よりインターネットを使ってクレジットカードで町税の納付ができるようになりました。

空き家対策工事補助金

空家活用促進事業補助金 **180万円**

空き家を利用し養老町に暮らし続ける方へ、住宅等の改修費の一部を補助します。

※詳細については広報5月号をご覧ください。

3月定例会

平成31年第1回定例会が、3月4日から20日までの17日間の会期で行われました。
 初日(4日)は、町長から新年度の施政方針が示されました。その後全34議案の提案説明を受け、総括質疑を行った後、予算特別委員を選任し、14議案の審査を予算特別委員会へ、20議案を各常任委員会へ付託することに決定しました。また30年度一般会計補正予算の繰越明許及び議員発議である政治倫理条例の一部改正について全会一致で可決しました。他に人権擁護委員候補者の推薦について同意しました。
 2日目(19日)は、4議員が一般質問を行いました。また、その様子をケーブルテレビにより収録しました。
 最終日(20日)は、各常任委員会委員長及び予算特別委員会委員長から審査報告があり、平成31年度一般会計予算を含む、全34議案を原案のとおり可決しました。

本会議における 主な質疑内容

養老町犯罪被害者等支援条例の制定

問 国が法に基づいて支援し、自治体は協力していく立場に思うが、見解は。また、この条例によって支援した場合の国の交付金措置は。

答 犯罪被害者等基本法には、犯罪被害者等に対する地方公共団体の責務が明記されており、地域の中で犯罪被害者等を総合的に支援していく体制を構築していくために本条例を制定するもの。この条例により支援した場合の国の交付金措置はない。

他市町村の制定状況は。

答 近隣市町では揖斐郡3町と輪之内町、羽島市が9月議会までに制定され、安八町と神戸町、海津市が12月議会で制定され、垂井町と関ヶ原町は今定例会で上程の予定をしている。全国では平成30年3月で1721市町村のうち、436市町村が制定済み。

生活資金等の貸付制度を導入する考えは。

答 近隣市町の動向を見ながら今後検討していきたい。

養老町体育施設条例の一部改正

問 グリーンハイッス養老の利用件数の推移は。

答 過去5年間の統計によると、件数は25%の減、利用率も29%の減。

借地料の金額は。

答 面積が1万3660㎡で、㎡あたり158円であるため、借地料の金額は215万8280円。なお、借地契約は平成30年度で終了。

死亡の場合の遺族に支援金30万円、重傷の場合の10万円の金額の根拠は。

答 制定済みの近隣市町はほとんどが岐阜県市長会統一制度で定める基準額を基に制定しており、近隣市町において足並みを揃え平等で適切な支給を受けられるようにするため支給額を決定した。

予算特別委員会

平成31年度養老町
一般会計予算

問 ふるさと納税推進事業について、新たな返礼品の開発や窓口サイトを拡充する考えは。

答 返礼品の開発については、物品、養老公園の宿泊品や、主要産業である食肉産業の事業者とも相談しながら、本町に来てもらえるようなお礼品を開発したい。窓口の拡充については、現状では担当課窓口、ポータルサイトの楽天市場とさくらふるの3つであるが、今年6月に予定されている制度改正を見極めながら、別のサイトも検討したい。

保育士の職員数と離職率は。

答 来年度の正職員数は主任と保育教諭あわせて29人、臨時職員数は29人を予定している。離職率は算出していないが、平成30年度の退職者数は、途中退職者等4名であった。



風疹ワクチンの予防接種事業の内容は。

答 今後3年間で昭和37年4月2日から54年4月1日生まれの男性に、風疹の抗体検査をし、抗体がなければ風疹の予防接種をするもの。来年度は昭和47年から54年生まれまでを対象に実施する。なお、職場の特定健診と一緒に受けられ、小さな事業所へは、事業所への働きかけと対象者へクーポン券を送って周知したい。



問 塵芥処理費について、10日間の大型連休中のごみ収集の対応は。

答 特別収集日を1日設けている。委託業者へは通常業務としてお願いしており、清掃センターにおいては南濃衛生組合の職員1〜2名が交代で対応する。

問 競争力強化生産総合対策条件整備事業について、町内でキャベツを生産している事業者との協議の状況は。

答 産地パワーアップ計画に関して、平成30年度中に行政とJA、サラダコスモが入って8回ほど話し合いをし、産地を拡大できるように協力願うよう進めてきた。また、サラダコスモと担い手との話し合いをする機会も計画しており、今後は利用者の意向を調査しながら、町の農



業発展に寄与できるように進めたい。

問 新規就農者や担い手等に対する国の補助事業が予算計上されているが、平成30年度中に当町から申請しても採択されなかった案件についての見解は。

答 平成30年度では申請は受理されたが、要件に合致していないことがあったため、しっかりと農業者と協議を進めながら確実に予算執行できるように進めていきたい。

問 建築物等耐震化促進事業について、民間ブロック塀を除去するための補助内容は。

答 補助対象限度額は上限22万5000円(補助限度額15万円)であり、上限を超えた分は個人負担となる。件数は10件を予定しており、申請が想定以上に多い場合は財政担当と協議する。

問 町民プールの赤字5500万円は今後も続くのか。また、命名権使用料の内容は。

答 町民プールの経常経費として、収支の開きがあり、それ以外にも臨時的な熱源の改修等があるため、今後の方針について早期に結論を出したい。また、命名権使用料については、平成30年度から5年間、スポーツマックスより年間108万円の収入がある。

平成31年度予算に関する総括質疑

問 国の就学援助補助金交付要綱の改正に伴い、当町においても入学前支給を実施する考えは。

答 入学までに必要な出費が3月中旬にあり、早めに国に請求し、3月に支給する方向で検討している。なお、平成31年度については場合により、補正対応もあり得るのでご理解いただきたい。



平成31年度養老町簡易水道特別会計予算

問 水道メータの検針業務を外部委託するにあたり、現在の検針料との比較は。

答 現在の検針業務は1戸あたり83円。外部委託については管理業務も含めた委託である。

平成31年度養老町住宅新築資金等貸付特別会計予算

問 現在の滞納状況は。

答 21件が滞納しており、うち5件は差し押さえ訴訟が進行中、16件が分納誓約を進めながら少しずつ納付している。

平成31年度養老町公共下水道事業特別会計予算

問 現在の水洗化率は。

答 平成29年度末で66・8%。

加入率は。

問 平成31年度養老町農業集落排水事業特別会計予算

答 総数127件のうち7件が未加入であるため、加入率は94・2%。

平成31年度養老町介護保険事業特別会計予算

問 3月末で大垣タクシーが介護タクシーから撤退するが、今後の方針は。

答 窓口相談受ければ、介護タクシーと類似の事業を行っている事業所を紹介したい。養老町社会福祉協議会のリフトカーは、家族が運転するのであれば利用可能である。また、第

委員会から 議会への 報告事項

答 平成31年度予算ベースで、特別徴収91・23%、普通徴収8・50%。

8期介護保険事業計画に関するアンケート調査で、そういった需要が反映されれば、次期の計画の中で検討したい。

問 特別徴収と普通徴収の割合は。

少子高齢化・人口減少は想定以上の速さで進み、養老町独居老人登録者数、要支援・要介護者の認定数も増加している現状を踏まえると福祉輸送サービス、すなわち「福祉タクシー」が必要不可欠の状態になるのを目に見えている。この現状を踏まえ課題解決のために、担当課の健康福祉



平成31年度養老町後期高齢者医療特別会計予算

問 特別徴収と普通徴収の割合は。

答 平成30年12月現在、特別徴収79・58%、普通徴収20・42%で、全体の8割が特別徴収。

こんなことがきました 審議した議案と その結果

議案		結果
31年度予算		
一般会計		全員賛成で可決
国民健康保険特別会計		全員賛成で可決
簡易水道特別会計		全員賛成で可決
食肉事業センター特別会計		全員賛成で可決
住宅新築資金等貸付特別会計		全員賛成で可決
上水道事業特別会計		全員賛成で可決
公共下水道事業特別会計		全員賛成で可決
農業集落排水事業特別会計		全員賛成で可決
介護保険事業特別会計		全員賛成で可決
介護サービス事業特別会計		全員賛成で可決
後期高齢者医療特別会計		全員賛成で可決
31年度繰入れ		
食肉事業センター特別会計	一般会計から53,600千円繰入れる	全員賛成で可決
公共下水道事業特別会計	一般会計から253,573千円繰入れる	全員賛成で可決
農業集落排水事業特別会計	一般会計から22,628千円繰入れる	全員賛成で可決
30年度繰入れの変更		
食肉事業センター特別会計	変更により増額する額4,900千円	全員賛成で可決
30年度補正予算		
一般会計(第6号)	小学校校舎等施設整備事業費357,830千円を31年度に繰り越し使用する	全員賛成で可決
一般会計(第7号)		全員賛成で可決
国民健康保険特別会計		全員賛成で可決
食肉事業センター特別会計		全員賛成で可決
介護保険事業特別会計		全員賛成で可決
介護サービス事業特別会計		全員賛成で可決
条 例		
養老町犯罪被害者等支援条例の制定		全員賛成で可決
養老町職員定数条例の一部改正		全員賛成で可決
養老町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正		全員賛成で可決
養老町公民館設置及び管理に関する条例の一部改正		全員賛成で可決
養老町体育施設条例の一部改正		全員賛成で可決
養老町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正		全員賛成で可決
養老町福祉医療費助成に関する条例の一部改正		全員賛成で可決
養老町斎苑の設置及び管理に関する条例の一部改正		全員賛成で可決
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正		全員賛成で可決
養老町上水道事業の設置に関する条例の一部改正		全員賛成で可決
養老町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正		全員賛成で可決
養老町法定外公共物管理条例等の一部を改正する条例		全員賛成で可決
そ の 他		
町道路線の廃止	中12号線を廃止	全員賛成で可決
町道路線の認定	中25号線を認定	全員賛成で可決
議員発議		結果
養老町議会議員政治倫理条例の一部改正		全員賛成で可決
人事同意		結果
人権擁護委員候補者の推薦	河合 政子 さん	全員賛成で同意
人権擁護委員候補者の推薦	高木 淳 さん	全員賛成で同意

総務民生委員会

問 養老町犯罪被害者等支援条例の制定

答 経済的負担の軽減の中身は。

問 犯罪等により死亡した場合の遺族支援金30万円や、犯罪被害者本人に重傷病支援金10万円を支給するもの。

答 現在、建物は土地改良組合が利用しており、いつ壊すかは決まっていない。

問 養老町職員定数条例の一部改正

答 消防職員が4人増員の配置場所は。

問 養老町公民館設置及び管理に関する条例の一部改正

答 高田分室の廃止に関する、地元や利用者との協議内容は。

問 平成29年度から話をしており、カラオケ、琴、高田まつりの利用者には、高田公民館や中央公民館を使って頂くといいことと了解を得ている。

問 養老町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

答 大垣市との消防事務委託の中で、上石津分署は13名とされていることから、4名の増員は養老署に配置する。

問 条文に専門職大学の前期課程を加える意味は。

答 専門職大学というのは今年4月に創設されるものであり、前期課程は短期大学の卒業者と同等の資格となる。専門職大学は、国際ファッション専門職大学と高知リハビリテーション専門職大学。

問 今後の建物の考案方は。

答 災害の状況により保証人を立てられない場合についての議論は。

問 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

答 償還できなかった場合、債務を自己が負わなければならぬこともあり、近隣市町においても保証人を規定しているため、当町でも規定することとした。

問 平成30年度養老町一般会計補正予算

答 平成30年度の基金積立金に1億3000万円を補正増しているが、次年度以降の対応は。

問 平成30年度養老町一般会計補正予算

答 当初予算では4事業者を予定していたが、補助要件に当てはまらず、2事業者しか適用されなかったため。なお、適用されなかった理由としては、生産性を向上させるということである。

問 元気な農業産地の構造改革支援事業の減額理由は。

答 当初予算では、主に鹿の頭数を360頭と見込んでいたが、200頭に減少したため。なお、減少の要因としては、猟友会の高齢化もあるし、防護柵による鹿自体の減少もある。

問 有害鳥獣駆除事業費の減額理由は。

答 養老町上水道事業の設置に関する条例の一部改正

問 養老町上水道事業の設置に関する条例の一部改正

答 西部簡易水道区域が上水道区域に変更となるため、水道法第10条第1項に基づき認可変更をするもの。

問 養老町上水道事業の設置に関する条例の一部改正

答 採択されたが、そこまで収益が上がらなかったため。

問 養老町上水道事業の設置に関する条例の一部改正

答 平成30年度養老町一般会計補正予算

問 平成30年度養老町一般会計補正予算

答 平成30年度の基金積立金に1億3000万円を補正増しているが、次年度以降の対応は。

産業建設委員会

問 養老町上水道事業の設置に関する条例の一部改正

答 条例を改正する根拠は。

問 条例を改正する根拠は。

答 当初予算では、主に鹿の頭数を360頭と見込んでいたが、200頭に減少したため。なお、減少の要因としては、猟友会の高齢化もあるし、防護柵による鹿自体の減少もある。

問 有害鳥獣駆除事業費の減額理由は。

答 当初予算では、主に鹿の頭数を360頭と見込んでいたが、200頭に減少したため。なお、減少の要因としては、猟友会の高齢化もあるし、防護柵による鹿自体の減少もある。

問 平成30年度養老町一般会計補正予算

答 当初予算では、主に鹿の頭数を360頭と見込んでいたが、200頭に減少したため。なお、減少の要因としては、猟友会の高齢化もあるし、防護柵による鹿自体の減少もある。





◆ 早崎百合子 議員

問 認知症サポーター養成講座の受講者の現状は。

答 公民館単位で巡回型認知症講座を開催している。早期発見・治療へのツールとして有効であったと考えている。

問 タッチパネル式コンピュータ（物忘れ相談プログラム）の活用方法と導入の効果は。

答 平成20年度からスタートし、現在84回開催。小学生を含む2728人が受講している。

問 普及啓発活動の展開方針は。

答 広報養老・ホームページに加え民生児童委員・老人クラブ・いきいきサロン・介護サービス事業所・居宅介護支援事業所などに声かけする。

水防倉庫・防災備蓄倉庫の管理は

町長 地域と協働し点検、情報共有



町内の水防倉庫

答 町と地域との協働で備蓄品等の管理・点検を行い情報共有する。

問 防災備蓄倉庫のチェック管理の責任者は。

答 点検の結果、12箇所での修繕が必要であると判断。緊急性の高いものから数年計画で順次補修していく。

問 水防倉庫の河川許可標・河川同意標識の管理体制は。

答 37箇所の設置がある。定期的に国土交通省へ申請を行い、随時更新しながら適正に管理している。

問 水防倉庫の維持管理は適正に行われているか。

起こりうるべき災害に備え水防倉庫・防災備蓄倉庫の充実管理体制の強化に関心をもち、重視していく必要を感じている。水防倉庫・防災備蓄倉庫の存在は自助・共助を実現するための資材確保にとって重要だと思われる。

町長

現況を踏まえ各種団体にPR

認知症予防施策・

普及啓発は



◆ 松永 民夫 議員

町長

一日も早く着手を期待

大型商業施設誘致の進捗は

問 スーパーサンシは農地転用、開発許可が平成29年2月28日に認可されたが、その後の進捗状況及び事業計画は。また、対象の用地は現在放置されているが管理責任はどこか。

答 当初の計画では、平成29年7月に事業に着手し建設工事の計画であった。2年程経過した現在、事業は行われていない。テナントの交渉中であることから、一日も早く着手されることを期待している。用地の管理は農地転用の許可時点において、転用事業者へ移ると考える。



スーパーサンシ事業予定地（国道258号線沿い）

問 サラタコスモ誘致の農地転用、開発許可は平成29年9月5日に認可されている。今後の事業計画は。

答 平成31年3月22日に事業に着手し、来年3月末に工場の建設が完了予定。一部用途変更の申請を行っている。その後レストラン、物産販売等の施設を整備していく予定。

厳しい清華苑の運営は

町長 経費削減、利用促進に努力

答 式場利用状況は昨年度50%を下回っている。また、経営経費収支状況は過去3年平均568万円の赤字となっているなか、今後、火葬炉及び屋根の防水工事で6500万円ほど必要である。そのため、利用体系を見直し、東半館利用で祭壇変更の場合、現行の3分の2の料金とし、利用促進を図りたい。また、柔軟なサービス提供のため、民間事業者への委託も調査研究していく。

問 平成30年9月定例会の補正予算で、清華苑の損害賠償金1050万円が議決されたが、その後の経緯、結果は。

答 元囀託職員の預り金1000万円は慎重に事務処理し、今年3月1日に一般会計への入金を終了した。相殺後の残額約29万円、遅延損害金約135万円は督促や法的措置など顧問弁護士の助言を得て対応していく。

町長

清華苑の利用が年々減少している

利用状況及び収支状況は。近隣市町と比較すると使用料が高い。清華苑の今後の運営方針は。



◆ 岩永 義仁 議員

問 新年度に新たな認知症対策を取り組みたい。脳活運動を普及させるため、老人会等を対象に脳活リーダーの養成を行い、住民主体で認知症予防ができるようにしたい。

答 町内全ての高齢者の健康寿命を延ばすため、町主導による積極的なフレイル対策の導入を提案する。

問 町内全ての高齢者の健康寿命を延ばすため、町主導による積極的なフレイル対策の導入を提案する。

答 まるごと介護予防教室を通じて実施している。また、出前講座においてフレイルチェックを実施している。



認知症予防教室の様子

町長

住民主体で活動できるように

高齢者の

フレイル対策を提案

人生100年時代を迎える中、元気で長生きする健康寿命に注目が集まっている。そのための手法の一つとしてフレイル対策が提唱されている。

※フレイルとは、運動機能や認知機能の低下、慢性疾患などの影響で高齢者の心身が虚弱となった状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像。



◆ 水谷久美子 議員

問 自衛隊法施行令は、市町村区に「必要な資料の提供を求めることができる」と規定しているが法令上、名簿提供の義務はない。

答 自衛隊岐阜地方協力本部長からの依頼を受け、募集対象者のみを抽出した住民基本台帳の一部の写しの閲覧を認めている。

問 個人情報保護は、憲法が保障する人権である。本人や保護者、議会や町民にも知らせず紙や電子媒体での協力は、人権教育を推進する当町の取るべき姿なのか。

答 全ての閲覧を認めた場合、対象者以外の個人情報第三者の目に触れることとなる。今後も必要最小限の閲覧にとどめる。

町長

自衛官募集への対応は

自衛隊法施行令に基づく協力

養老鉄道の利用改善提案

町長

養老線管理機構と協議したい



養老鉄道烏江駅駐車場

問 烏江駅周辺に売店や移動販売の町内業者を募ると共に、大垣養老高校との事業提携をさらに進め、同校生徒の利便性を図る烏江橋からの西回りの最短通学路検討を提案する。

答 養老線管理機構と随時協議し、検討したい。大垣養老高校との連携の可能性、通学路についての意見も参考にしたい。

問 高田駅は、さらに駐車を拡充し、道の駅に準ずる店舗を設け、福祉作業所との連携した障がい者雇用を。

答 鉄道の敷地を活用する駐車場の拡充を検討する。福祉作業所と実現可能な範囲で協議したい。

問 養老駅は、駅東に駐車場を設置し乗車できるような提言する。公園往復のシャトルバスのサイスタウンと頻度アップを検討されたい。

答 東側駐車場整備は、民地取得が必要であり、地域の理解が求められる。シャトルバスは、26人乗りを稼働しており、当面は同様の対応としたい。

災害対策についての質問もしました。

養老の未来をつくる政策提案

町長

協議、検討する

最新のデータでは今後20年ほどで養老町の人口は1万5千人にまで減少するという。早急かつ効果的な政策が求められる。

問 養老町と他市町との境界にバス停を設置し、それぞれが所有するコミュニティバス等を取り入れてもらう。これにより周遊型の観光客の取り込みや、新幹線やJR各駅へのアクセスを確保する「ターミナル構想」を提案する。

答 公共交通会議で協議中だが、必要に応じて関係市町や機関と協議する。

問 本気で企業誘致を行うための都市計画の策定(各エリアの線引き)を提案する。

答 当町は線引きをしていないが、都市計画や区域区分の方針について検討を行い、集約型の都市形成を目指したい。

問 交流人口の確保策として高校跡地に職業特化型専門学校の誘致を提案する。労働力の提供は今後の企業誘致に不可欠である。

答 県の判断が必要だが、町として意見を取り纏め提案していきたい。

新元号の対応についての質問もしました。

あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 90

このシリーズは、過去の定例会（今回は平成27年12月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

単位：円

	①補助額 (現行)	②増額分	③補助金額 (①+②)
5人槽	444,000	75,000	519,000
7人槽	486,000	221,000	707,000
10人槽	576,000	397,000	973,000
11~20人槽	1,092,000	397,000	1,489,000
21~30人槽	1,860,000	—	1,860,000
31~50人槽	2,496,000	—	2,496,000

※高度処理型合併浄化槽設置工事に伴う補助金は、国・県・町で賄われております。本年度、国の浄化槽補助金制度の改正が予定されており、今後、補助金の対象が一部変わることがあります。

答 県が構想の見直しを進めている。推進策については見直し状況を把握しながら検討していく。

問 高度処理型合併浄化槽の推進と補助金の増額は。

「高度処理型合併浄化槽の推進と補助金」

町では、高度処理型合併浄化槽のさらなる促進を図るため、住宅に設置する場合の補助額を上乘せをするものとなりました。高度処理型合併浄化槽の普及は、生活排水による河川等への影響を緩和し、水環境改善に繋がります。合併浄化槽の普及に向けた啓発にも併せて取り組んでまいります。

詳細については、広報「養老」や町ホームページ等でお知らせしておりますのでご確認ください。

「つなりました」

議会に対しての意見 シリーズ 28

■ 住民の声 ■

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

「地方議会不要論」なるものがある。行政と議会、すなわち行政の執行機関である行政と意思決定機関である議会と住民から託されているものが異なっている。住民はそれぞれの代表として、行政に1人、議会に複数人の代表を選出する。これは2つの意思が存在するという事であり、それぞれに微妙なズレが生じて当然である。このズレこそが二元代表制の優れた部分であり、健全な緊張感である。職業議員、議案が常に全会一致で可決。議論が十分にされているのか？ 議会そのものが必要なのか？と考えると、

議論を尽くすことは、この養老の課題が何かを見出すことができるはずである。議会は課題の論点や考えの幅を共有することで、住民の意見を反映させる。議会が変わらなければ、自治体も変わらない。議会が本来あるべき役割を果たすことを願う。

(町内在住 Y・Oさん)



「議員と話そう」アンケート結果

(平成30年11月10日、11日 「養老フェスタ2018」にて実施)

Q. 議員に期待することは何ですか。

- ・しっかり議員として仕事ができること。
- ・町民の意見を反映することができる人が良い。
- ・町をより良くしてもらいたい。
- ・私利私欲にとらわれず毎日が議会活動と思い、行動して下さい。
- ・議員活動に専念してほしい。
- ・議員の質を上げよ！
- ・行政の問題点を町民にも共有の問題とする。

Q. 現在の町政に不満はありますか。

- ・人口減少対策。
- ・インフラ整備。
- ・施策に対し、十分な住民説明が必要ではないか。
- ・職員の資質を向上させてほしい。
- ・不透明なことが多い。
- ・税金の使い道をしめす。

Q. その他ご意見等がありましたら教えてください。

- ・1300万円（斎苑問題）はどうなったのか。
- ・旧養老女子商業高校の再利用の検討。
- ・消防団訓練への負担が多い。本番に結びつくか疑問。災害に協力できる施策。(地域の理解、職場の理解)
- ・災害対策をしっかりして。
- ・各種団体の行事に関して、代表者の負担が大きすぎる。
- ・役場職員の対応が良くない。
- ・町独自のブランド商品等開発が必要。(特長を出して)

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。この他にも議会に対してのご意見を多数頂いておりましたが、紙面の都合上、割愛させていただきました。なお、頂いたご意見は、議員全員の共通課題として取り組み、今後も皆様からの負託に応えようよう尽力してまいります。

議会改革特別委員会